

発行責任者 柳 利夫  
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301  
 Tel. 0423-92-8808  
 編集者 川村 英明

## 市民テ夏季合宿報告 中根 一夫

市民テニスクラブ協議会の年中の一大行事の夏季合宿が大人30人、子供20人、計50人の多数参加のもとに、7月27・28・29日の3日間、那須高原グリーンウッドテニスランチにおいて実施されました。

初日の27日は、例年の如く東住宅給水塔の前、朝8時30分全員集合。特に今年は笹野井幹事が市民テ合宿の為わざわざ大型自動車運転免許証を取り、省エネルギー、経費節減の面から大型マイクロバスを準備し、マイクロバス2台と乗用車2台を足として出発した。今年は参加者が多かったため乗用車だけだと10教台を必要とし、中にはヘタクソ運転手も居るだろうし、事故発生に繋がり兼ねない事から、大型マイクロバスを追加した事は安全確保の面で大いに増大し、かつ1台に30数名乗車できることから道中を楽しく過す事が出来るなど、一石二鳥にも三鳥にもなる出発であった。

大型マイクロバスは完全冷房、マイク付で、早速バスガールならぬバスボーイが出て来て、行動予定説明やら、道中の名所旧跡の案内、のど自慢の司会をやり、全員が色々な歌を楽しく歌い、車中で退屈する事なく、東北高速自動車道の途中佐野サービスエリアで小休止の後、無事那須高原に到着。途中、栃木インターチェンジを過ぎたあたりからポツリ、ポツリと降り出した懸念された雨が、グリーンウッドテニスランチ到着後も続いており全員ガックリ。

昼食後諦め顔で一休み、16%映画でローズウォール、オーバトン等の観賞をしたりで時間をつぶしていた所、空模様も良くなり、幹事の強力なフロントとの接衝結果からセンターコートに集まり、濡れたコートを整備して練習開始。軽く汗を流す程度の練習になった所で空模様急変し、又雨がやって来たが、諦め切れず雨中の練習と相成り、久米川コートでスケタボールが洗濯した如く真白くなる迄センターコートで汗を流した。

夜は例によって、会長部屋でパーティが開かれ、飲んだり、歌ったり、話したりで楽しく過ごし、明朝の朝練に備え早目に床につく。

尚、子供達には男の子、女の子に分け、各々一部屋を与え、5・6年生をチーフに子供達の自主管理のもとに、夜屋を過ごさせる事とし、虫取り、水泳等で結構楽しく過ごした杯である。

2日目の朝、張り切り屋のニタさん、朝の目覚めが早い年寄り組のTさん、Tさんなど、5時にはコートに出て山の新鮮な空気を胸一杯吸い、朝練を楽しみ堪能した。

朝練後の迎え酒としてのビールの味がこれ又格別。

朝食の後、空模様は引続きハッキリしない中で、今回の合宿で何か一つ掴んで帰ろうという目標を立て、南13~15番のハードコートでバックハンド特訓を中心とした練習に励み、合宿参加者全員が格段のレベルアップをものにした。

2日目の夜は、子供達の為のプログラムが組まれ、女の

子が準備した材料を使ったバーベキュー、打上げ花火、スイカ割り、演芸大会、プレゼント交換会など盛り沢山の催し物、特に演芸大会の出し物のうち、女の子達の「5匹の子猫」の劇が大変上手に出来て圧巻。

Yさんと言う酔っ払いが、大声でガミガミとなり、楽しさに水を差したがこれ又一興で、楽しいひと時を過ごした。

子供向けプログラム終了後、2次会としゃれ込み、会長部屋で飲みながらのテニス談議に花が咲き、夜遅くまで真剣かつ熱心な話し合いが持たれた。あるご婦人部屋では何と朝4時までテニス談議、身の上話しが続いた由で、全くの驚きである。

3日目の朝練は雨上りの6時ごろから、目覚めの良い年寄り組が中心となり汗を流した。

最後の午前中も小雨模様の中で、アプローチショット等の攻撃的なテニスの練習をみっちりやり、特にご婦人達の腕が上がったようである。(合宿未参加の女性の皆さん、次の試合で合宿参加者からヤラれますヨ---)

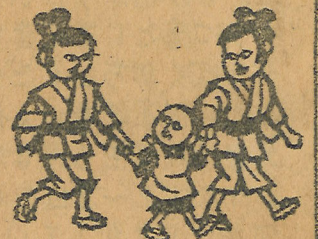
この杯に連日天候不良の中にも、ロス時間も少なく十分な練習を重ね、可成りの成果を得て、那須高原での最後の昼食を取り、カキ氷を食べながら反省会を行ない、午後2時帰路についた。

大型マイクロバスではドライバーの眠気防止の為、のど自慢、歌謡リサイタルなどを開き、楽しさを切る事なく、全員無事予定通り夕方6時半、東住宅給水塔前に到着した。

以上の如く我が市民テの夏季合宿は、テニスを大いにやり、下記データが示す通り行きも帰りも、昼も夜も十二分に楽しむ事に意義あり、来年も是非皆さんが多数参加される事を推奨します。

### 期間中に飲んだ量

缶ビール	60本
びんビール	54本
ウイスキー(オールド)	1本
ク (白大びん)	1本
缶ジュース	60本



## テニス合宿に参加して

恩多小学校5年 三安 幸子

那須に着いたら、わたしと松井さんが女の子の部屋のリーダーになるよう言われたので、二人でどうやってみんなをまとめて、仲良く遊ばせられるか相談した。

着いた日はプールで泳いだ。水が冷たかった。雨で外に出れない時はトランプをしたり、いろいろなゲームをしたりして遊んだ。

夜はおそくまで、さわいでいてなかなかねられなかったが、みんなベッドをぬけ出して、床でごろ寝をした。

次の夜のキャンプファイアの時に出す出し物を考えておくように、と着いた時言われたので、みんなで何をやるか意見を出し合って、げきをやることになり、どんなげきを



(オモテ右下よりつづく)

やるか皆んなで話し合っ、多数決で7匹の子やぎをやる事になり、役を決めるのに自分のやりたい役をいってジャンケンで決めた。

私は皆んながやりたがらないおおかみを自分で希望してなりました。

人数がたりないので5匹の子やぎでやる事にして、セリフは自分達で思い出して、教え合ったりして覚えた。小道具で必要な物は紙で作った。おおかみのお腹の中に入れる石は紙をまるめて作った。これは当日、見物していた人達からよく作った、とほめられた。

雨でキャンプファイアは出来なかったけど、私達がせっかく練習したからと、げきをやらせてくれ、皆んなうまく出来、見物の人達にも好評でうれしかった。

あと、バーベキューの用意のお手伝いをして、ピーマンやかぼちゃを切ったけど、ピーマンは中身が種だけでガラス窓なので切りやすかった。ナスはコロコロころころがむつかしかった。かぼちゃが固くて一番切りにくかった。自分で切ったから、あんまり好きじゃないピーマンもおいしく感じた。

それからたくさん友達が出来てうれしかった。  
来年も又参加したいと思います。



## 那須高原に行ったこと

久米川小学校 5年 高橋 晃

ぼくは7月27日にテニスの人たちと那須高原に行きました。那須は栃木県にあります。栃木の一番北のはしっこにあります。東京から約5時間ぐらいかかりました。すご〜く広くてテニスコートだらけ。プールもあるし、アスレチックもありました。クワガタやカブトもいっぱいいました。食事もすご〜くうまい。ぼくのやりたいことが全部那須高原にありました。

まず着いて最初に部屋をきめます。ぼくたちは1009番です。部屋に入ってまたびっくり。あんがい広くてベッドが6人分ありました。にもつをおろして休みました。その後クワガタを取りに行きました。昼間は一匹もいませんでした。野球場にあるような夜間照明が4、5本立っていました。その明かりにいっぱいカブト虫やクワガタを感電させて下に落としてしまいます。そして落ちたカブトやクワガタをぼくがちょうだいするわけです。でも生きている数より死んだオが多い。夜間照明の上についている殺虫光線さえなければ虫も死なずにすんだのに……。でも殺虫光線がなければ2〜3匹しか取れなかったでしょう。カブトやクワガタをさがしている内におむくなってきたから今日のところはもう帰ろう。明日はもっと取るぞ。でも次の日はぜんぜん取れなかった。

夜ぼくは、えの本君やめいや君とふろに入りに行きました。ふろはすご〜く大きかった。急いで眼をぬいでふろに飛びこみました。飛びこんだ時すご〜く気持ちが良かったから、もう一回飛びこんだ。それを何回も何回もやってあきたので、次はおよぎました。その次は犬がきをしました。最後にあがって体をあらいました。体があつくなってきたのでもう一回飛びこんでからあがりました。とっても良い気持ちになりました。

(右下よりつづく)

うちにかえったら、アンテナにかみなりがおちて、テレビがみられないから、がっかりしました。



## わたしの日記

南台小学校2年 くわはら れいこ

7月27日 金 くもりのち雨

おがあさんが、テニスのがっしゅくに行くから、わたしもついて行きました。カレンダーの、27・28・29をまるでがこんで、たのしみにまっています。ばしょは、なすです。バスで行きました。バスは、子どもが、多かったです。うんてんしゅさんは、太ったおじさんでした。

ついたときは、雨でした。東村山より、テニスコートがたくさんありました。へやもたくさんあって、さがすのにまよってしまって、しらないおばさんに聞いたら、教えてくれました。わたしたちのへやのばんごうは1010ばんです。

へやに入って一ばんさいしょにしたのは、じこしょうかいです。せきにんしゅは、二人です。そのつぎに、ねるばしょをきめました。わたしは、ニだんベッドの上です。ねているときに、おちるかどうかが、しんばいでした。

7月28日 土 雨

おがあさんたちが、テニスをやっている間、わたしたちは、プールに入っていました。大きいのと、小さいのがあります。大きいのに入ってから、小さいのに入ると、少しあったかいから、「あったかプール」と名まえをつけました。しばらくは行って、出てきました。それから、げきのれんしゅうをしました。だいは、「ちひまの子やぎ」とつけました。

夕がた、バーベキューの手つだいを、女の子たちがしました。わたしは、ピーマンのたねとりと、玉ねぎをきりました。一かいきいたら、目がいたくなって、なみだが出てきました。さいごに、手がすべって、たいへんでした。夜は、バーベキューをしました。食べているときに、おにくのにおいがして、大きな犬がきたので、びっくりしました。

つぎに、花火をしました。花火がきゅくに、ドン!と、あがったので、おどろきました。子どもたちが、ぼうの花火をいっぺんにはじめたら、けむりがもくもくたくさん出て、花火がキラキラひかっているように見えました。

こんどは、すいかわりをしました。わたしたちを見て、「わたしも、わってみたいなあ」と思いました。やっとわたしのばんになって、おもいっきりたいてみたら、はずれてしまいました。つぎは、プレゼントこうかんです。「せんろはつづくよ」のうたをうたいながら、まわして、こうかんしました。

さいごに、わたしたちのげきをしました。大人の人たちが、いっぱいはくしゅをしてくれました。

きょう一日いろんなことをして、ものすごくたのしい日でした。



7月29日 日 はれ

おがあさんたちは、テニスをしていました。わたしたちは、大きいおねえさんと、プールに行きました。はれだから、いつもよりあったかかったです。

おひるごはんがすんで、デザートに、かきごおりを食べているとき、おがあさんたちは、話し合いをしていました。男の子たちは、いつとってきたかしらないけど、カブト虫とか、くわがたをたくさんもっていました。おがあさんが「カブトとくわがたを、いちろうくんにもらったのよ」といいました。ビニールにあなをあけて、だいじにもってきました。

かえるとき、うたをうたってかえりました。



## わが合宿記



■ 青葉クラブ 藤岡 順子

ワイワイ、ガヤガヤ、にぎやかなことにぎやかなこと、子供達の声はずめば、大人も負けじとはしゃぎまわる。「さあ、合宿でテニスを思う存分してきましょう」

東村山を発つ時は晴れていたのに、どの辺から雨が降り出し那須に着く頃には雨も本降りとなってしまいました。「残念、テニスをしに来たのに、なんて無情なこと！」皆の顔がそう言っているようでした。

コートに出られず映画に切り換え、それでも小雨になった林なのでセンターコート借りての初練習、しかし30分も経たない内に雨で中止、早目に入浴を済ませ明日の天気に期待をかけて就寝。

二日目、4時半頃、雨は上っています。ゴソゴソ起き出す人があり、私も仲間入り。コートに出ますと水がたまっていて、水を掃き出しての打ち合い、慣れないコートでボールのバウンドは違うし、ころぶこともできず、足もくたびれ、返球も思うにまかせず苦勞しました。

午前・午後の練習は一応行ないましたが、雨は完全にやんだ訳でなく時々ひどくなり中断、それでも小雨の中、コーチが一生懸命ボールを送って下さり、ボッシュンと水しぶきをあげて飛んでくるボールを必死に打ちました。

今回の合宿は、バックハンドを重層的に習得と言う争ですが、自分の力不足もありますが、コートの悪条件を理由に、マスターできませんでした。

その夜のキャンプファイアもやはりできません。雨男が雨女がいるのでしょうか？ でもさすが市民テの由緒ある行幸、野外バーベキューは見事でした。

ジージー、大きな鉄板二枚で牛肉、豚肉それぞれ3キロ、それにピーマン、ナス、玉ねぎ等の野菜、そしてヤキソバ。本当においしかったこと、何杯もおかわりし、「そんなに食べてお腹こわすなよ」と言うわが夫の言葉に、フッと我に返った私でした。

少々雨ですが澄んだ空気の中、皆との食事は格別でした。子供達にもスイカ割り、花火など楽しいプログラムが組んでありました。又、小1から小6までの女の子全員による劇「狼と5匹の子やぎ」はとても可愛く、拍手喝采でした。たった2日間しか一緒にいないのに、こんなにまとまれるなんて大したものですね。

さて、その夜はコーチとひざを交えてのミーティング、日頃思っている事をお互いに出し合っの議論は、夜中まで尽きなかったようです。

三日目、お天気はどうでしょうか、眠いんですが晴れています。6時頃からの早朝練習、又試合。昨夜は遅い人が多かったせいか参加者は10名程でした。

9時からの本練習は快晴の下、ボレー、ポーチ、レシーブなど、昼までミッチリ練習。ドンドンボールを出して貰い、余り打てなかった私も少し進歩があったかの様に思われました。

この林に合宿の全日程は終了。雨とはいえ早朝2回、午午前2回、午後1回半、中味の充実した練習ができました。これもひとえにコーチを始め、運営に当たられた方のお蔭だと思えます。ありがとうございます。

いつもコーチの方は球出しですが、合宿ではコーチの方の練習時間をとったらいかがかしらと思いました。

尚、二日目夕の野外バーベキュー、その準備に当たられ

た方、ご苦勞称でした。テニスの合宿をしにきたのに、50人分もの夕食、又工夫をこらしたパーティを企画、実施されるなんて素晴らしいですね。

子供達についても……。我が実の子2人も皆林方のお兄ちゃん、お姉ちゃん方に大変お世話になりました。久し振りに子供に小言も言わずくと言うより、全然親の所に来ませんでした(3日間過ごさせて戴きました。子供自身が自主的に生活を管理できるなんて、皆頑張りましたね。いろんな体験を通じ、子供も一まわり成長したようです。

合宿も終わり早や1ヶ月、みっちりマスターできたバック、ボレー、……。でもその10分の1位しかうまく打てません。恵まれたコートにつき、少ない人数で集中的に練習でき、多少上達したかも知れませんが、今いろんな場に会うと仲々うまく打てません。

ただ、どなたかが言われた様に、人と人との心のかれ合いを大切にしたいですね。合宿の中でいろんな人に出会い、いろいろ学びました。市民テニスクラブも、和気あいあいとした中にも厳しさがあります。でもお互いに信頼できるなんてとても素晴らしい事だと思います。

長くなりましたが、今後ともいろんな面で皆林方にお世話になります。宜敷くお願いいたします。



■ 本町クラブ 三安 孝子

私は普段今流行りの(自称)キャリアウーマン(他人はキャリアおばさんと呼ぶが)ならんと勤めているので、土日の練習以外はラケットで素振りする暇もない程で、少々練習不足気味の所、春の合宿から帰って来た儀間氏、田畑さんが「とても楽しかったから今夏の合宿には三安さんも御一緒しましょう」と言って下さったので、早くから職場に休暇願いを出して参加させて頂きました。

所が那須に近づいた途端に雨が降り出し、皆んなの中から誰が雨降らせ男か女かと言う声しきり、私が旅行に行くたび雨が降るのよと矢言したばかりに根源は私だと言う事になってしまいました。

しかし二日間雨の中の練習は、ボールがしぶきを上げて飛んでくる凄まじさでしたが、さすがテニキチ連中弱者一ツ吐かず頑張り通しました。苦手をバックやボレー、ポーチ等を練習したのですが、私は何度やってもポーチがきめられず自分の鈍感さをつくづく知りました。帰ってくる時から身体中が痛くて、翌日役所へ出勤するのに、這って行きたい程の思いをしました。

合宿で一番印象に残ったのは、毎晩開かれたミーティングです。スポーツマンイコール歌がうまいと言ってもよい程お上手な人がたくさんいた事、先輩・後輩もなく言いたい放題でとても和やかな、そして有意義なミーティングでした。コートでは近より難いと思っていた先輩諸氏ともお近づきになれ、又指導者の方達がいかに陰で、苦勞と努力をされて私達を指導して下さっているかと言う事も改めて知りました。私も限られた練習しか出来ないながらも、コートでの指導者の投げ下される一球一球を大事にして行こうと気持ちを締め、練習に励もうと思いました。又同室させてもらった人達とも二晩寝食を共にし、その人、その人の性格もわかり、尚一層親しみを感じ、これからも仲良くなれるのではと思いました。

尚合宿で一番羨ましかったのは、御夫婦連れです。この時とばかりにどの奥さんも御主人に甘えて大変なものでした。今度参加する時は私も負けずに、主人を口説いて一緒に行ってもらうぞ!! (裏面右下へつづく)





私とテニス <連載 22>

本町クラブ 翠川 明

信州の山奥から布団袋一つで東京に出て来てから十数年になります。その間に引越が十数回。はじめは一人のジブシー男が、今は子連れのアシシー家族になりました。最近、子供までが次はどこに引越すのか楽しみにしています。子供の期待を裏切らないためにも、そろそろ荷を懐馬車に積み込まなくてははいけません。それはともかく、この放浪癖はもともとあったのですが、山歩きなど好んでしたためにいっそう磨きがかかったようです。

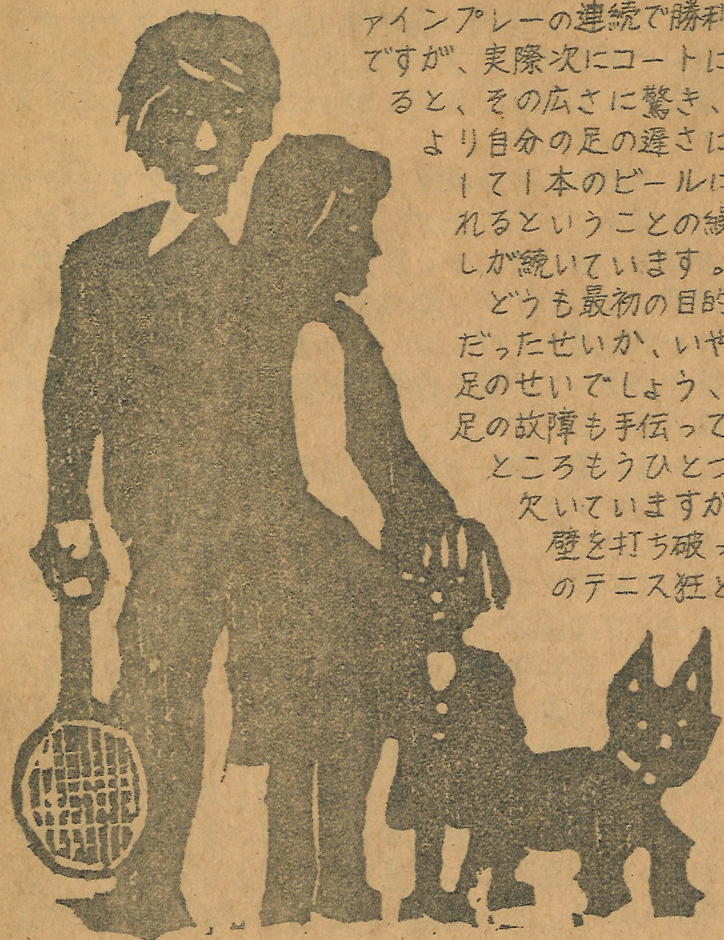
田舎にいた頃は山の中ですから、取り立てて山登りなどしようと思わずにいたのですが、東京に出て来てからは無性に山に行きたくなり(人はそれをノスタルジアと言うが...)良く歩きました。それがなぜかパン屋を始めてからは行けなくなり、山への思いは脹らむばかりでした。夢は遠くヒマラヤ、アンデスの山々。しかしそれには、体を鍛えなおさなくてははいけません。まずは...とランニング。これは汗が出るばかりです。汗が出て楽しいスポーツ、それはテニスです。そしてありがたくも市民テニスクラブに入れていただけた訳ですが、練習するうちに多少うまくなります。そうすると狂ってきます。始めてから1~2年というもの、寝食は決して忘れませんが、毎日頭の中はテニスばかりです。

職人の手というものは便利に出来ていて、ある手慣れた作業となると、頭は別のことを考えていても、手は決ったその仕事をしてくれくれます。つまり手はアンパンをつめながら頭の中では、テニスのフォーメーションを考えると

いった具合です。もっともこういう場合、自分はいつもフラインプレーの連続で勝利者なのですが、実際次にコートに出てみると、その広さに驚き、というより自分の足の遅さに愕然として一本のボールに慰められるということの繰り返しが続いています。

どうも最初の目的が不純だったせい、いや練習不足のせいでしょう、それに足の故障も手伝って、このところもうひとつ精彩を欠いていますが、この壁を打ち破って、真のテニス狂となるべく

励むつもりであります。



編集後記

筑紫さん、上釜さんの長男・博君(小1)が8月下旬に退院されました。祈願全快。紙面の都合で、那須合宿記2通と、「女子連シングルスに準優勝して」(後半部分)を次号にまわさせていただきます。

東村山市チーム3位に入賞

第13回都下市町村総合体育大会庭球競技大会

今年はお金井市が受け持ち大会が催されました。硬式庭球大会は今年が第2回目ですが、今年はいち多くの市民が大会に参加できるようにとの配慮から1チーム7ダブルス(男子4組、壮年1組、女子2組)で競われました。しかも、コートの関係から、予選制度を採用し、予選を勝ち抜いた7市町村と主催市の小金井市を加えて8市町で本選が8月5日に東京学芸大学のコートで戦われました。その結果東村山チームは予選で、青梅市と三鷹市に勝ち本戦入りをしました。本戦1回戦で狛江市を破ったものの準決勝で小平市に敗れ3位となりました。都民大会、今大会と入賞を果たすことができたのも、各選手の結束のたまものだと思います。この場を借りて各選手にお礼申し上げます。なお結果の詳細は次の通りです。

■ 予選1回戦 東村山市(7-0)青梅市

男子ダブルス

小林・湯沢(8-1) 武谷・小林(8-6)  
鈴木・中野(8-4) 市川・長坂(8-3)

女子ダブルス

武谷・鍵山(8-0) 渡辺・坪谷(8-1)

壮年ダブルス

迎・鍵山(8-1)

■ 予選2回戦 東村山市(6-1)三鷹市

男子ダブルス

小池・鈴木(0-8) 山本・中野(8-6)  
武谷・光田(8-7) 湯沢・小林(8-7)

女子ダブルス

武谷・光田(8-0) 渡辺・坪谷(8-3)

壮年ダブルス

迎・市川(8-2)

■ 本選1回戦 東村山市(4-3)狛江市

男子ダブルス

小林・湯沢(8-5) 武谷・高崎(8-4)  
鈴木・長井(8-6) 官崎・中野(4-8)

女子ダブルス

武谷・渡辺(8-4) 木村・三宅(2-8)

壮年ダブルス

米田(寛)市川(5-8)

■ 本選準決勝 東村山市(2-5)小平市

男子ダブルス

小林・湯沢(6-8) 武谷・高崎(8-7)  
鈴木・長井(4-8) 中野・長坂(4-8)

女子ダブルス

武谷・渡辺(8-5) 武田・三宅(3-8)

壮年ダブルス

米田(寛)市川(2-8)



(裏面右下よりつづく)

今度の合宿でも柳さん御夫妻、笹野井さん御苦勞様でした。特に柳さんの奥さんは腰痛になる程頑張って頂き、私などは参加したのみで何んのお役にもたず、来年は少しでもお役に立ちたいと思っていますので宜敷くお願い致します。